

摂河泉 OB

NTT 労組退職者の会・大阪支部協議会 発行責任者 大庵芳運
 ☎553-0003 編集責任者 小林 保
 大阪市福島区福島3丁目1-73 コミュニティープラザ大阪内
 Tel. (06)6451-8100
 Fax. (06)6344-9382

美しく健康、生涯いきいき

支部協第3回総会開催



第2回総会模様

会長あいさつ

大庵 芳運

今年は、大変厳しい暑さが続きましたが、会員・ご家族の皆様にはお变りございませんかお伺い申し上げます。平素は、会の運営に多大のご協力ご支援を賜り心から厚くお礼申し上げます。

支部協の第三回総会を迎えるに当り、私事で恐縮ですが、今期の任期満了をもちまして会長の職を退任させていただくこととなりました。自からの微力非才をかえりみず、会長を務めさせていただきましたが、その重責を全うするために、常に万全の体調と健康であり、かつ、体力をもつことが不可欠の要件とかねて考えておりました。その体力も喜寿を迎えた今日年齢相応となってきました。

実力者揃いの役員、ブロック委員に支えられ、NTT 労組大阪支部のご指導をいただき無事任務を全うすることが出来ました。ここに長年に亘るご指導ご鞭撻に対し衷心よりお礼申し上げる次第であります。

さて、20世紀最後の第42回衆議院選挙は、6月25日投票、即日開票の結果、自公保政権の絶対多数を崩すことができませんでしたが、与党三党が軒並み議席を後退させ、一方民主党は、32議席を確保し政権奪取に向けて一歩踏み出したが、自民党に代る「民主党中心の政権」樹立が未だ成熟していないことも事実であります。年金、医療、介護など社会システムや、行財政の抜本的改革のため、来年の参議院選挙の機会を目指して、政治が私たちの運動と生活に直結する立場から、政治に対する関心を高め躍進の基盤づくりに、一層のご支援ご協力をお願いします。

21世紀に向け私たちは、在職時の職場を主体とする組織運営から、生活の場である居住地組織に移行する組織問題に取り組んでいます。出身支部は異なっても、同一地域に居住する会員が、お互に健康をたしかめあい、「誰れもが安心して暮せる希望に満ちた」高齢社会実現のため現職世代と現退一致で活動をすすめたいと存じます。大阪以外、そして近畿圏外の会員との情報交換、交流は極めて大切であり、その役割りを果す「摂河泉OB」の会報発行は重要であります。9月14日の中央協第2回において、「摂河泉OB」が「優秀賞」を受賞しました。皆んなの力です……。

この皆んなの力で、退職者の会、現退一致の運動発展のため共に頑張るではありませんか。

告 示

次の通り、NTT 労組退職者の会大阪支部協議会会則第7条にもとづき、第3回定期総会を開催します。

記

1. と き 2000年10月28日(土)
受付13時30分 開会14時より
2. と こ ろ コミュニティープラザ大阪3階ホール
〒553-0003 大阪市福島区福島3-1-73
☎06-6541-8100
3. 構 成 (1) 各ブロック代議員(割当数)
(2) 大阪支部担当役員
(3) 大阪支部協議会役員
(4) 大阪支部協議会会計監査

4. 議 題 (1) 1999年度活動報告
(2) 1999年度会計報告
(3) 1999年度会計監査報告
(4) 2000年度活動方針(案)
(5) 2000年度予算(案)
(6) 会則改正(案)
(7) その他

2000年9月28日

NTT 労組退職者の会大阪支部協議会
会長 大庵 芳運

※総会終了後、懇親会を開催します。

支部協第3回総会議案のあらまし

1年間の活動を振り返って

昨年の第2回総会で決定した具体的な取り組みについては、幹事・ブロック委員が一体となって努力し、加えて大阪支部のご支援と会員各位のご協力により、一応の成果を得ることができたと思います。

以下項目ごとに1年間の経過を振り返りながら報告いたします。

1. 会員拡大の取り組み

大阪支部および西日本本社支部主催の退職予定者説明会に出席し、会の活動状況や加入奨励を行いました。しかし、その他グループ企業における退職者に対しては、当該支部・分会等の自主的対応に委ねざるを得ない現状は、今後の大きな課題であると認識いたしております。

会員数は、昨年9月末4,730名が、本年8月末までは4,742名であり、12名の増加となっています。会員の増が少ないのは大阪府外居住会員の転籍の増加と、会員死亡の増加によるものであり、ちなみに会員死亡数は昨年度は37名、今年度は80名となっております。

2. 事務局運営体制の確立

昨年に引き続き、質的向上を含めて運営体制の強化に努めてきました。

① 幹事会について

総会に次ぐ議決の場として意を払っており、暦月の最終木曜日を定例日とし12回の幹事会を開催し、諸種の事案に対応してきました。

② 事務局会議について

幹事会開催にあわせて、その1週間前後を定例日として開催し、幹事会の効率的な運営、支部との対話・交流の実をあげてきたと考えております。

③ 常駐体制について

ブロック委員の協力を得つつ週5日体制を堅持してきました。共済関係業務、イベント参加者の集約、各種問い合わせ等、広範な業務ですが、状況に応じて1名または2名常駐とし、弾力的に運営してきたところであります。

④ 地域構成の検討について

昨年6月にスタートした組織検討小委員会は、11月会長に中間答申するとともに、11月の第1回幹事会に報告、続いて12月の第2回幹事会でも答申案を基に論議をはかったが散発的なものに終わりました。

その後は選挙活動のために中断してきましたが、5月の第7回幹事会において、組織検討小委員会の任務終了を確認するとともに、新たに組織検討委員会として構成人員を拡大（4名から8名）して作業を継続することとしました。その後4回にわたり精力的に組織検討委員会を開催し、論議を進めてきたところであります。この論議経過をふまえ、活動方針で「組織問題の取り組み」として提起いたします。

⑤ 退職者共済について

常駐者を中心に、支部担当職員の指導を得つつ共済関連業務の推進に努めてきました。



介護保健

保険料はどうなる？

65歳以上の人に払ってもらう介護保険料（1号保険料）の徴収が10月から始まります。介護保険スタートと同時に集める予定でしたが、政府の判断で半年間延期されていました。

10月からの一年間は本来の半額で、来年10月からが全額徴収です。多くの人は年金からの天引きになります。

3. 会員とのコミュニケーションの充実

① 電話訪問について

2月から3月末にかけて電話訪問を行いました。結果等は会報に掲載されたところではありますが、今後の課題として電話訪問よりハガキ訪問の方がより効率的であり、会員の皆さんにも簡潔で意を尽くせるのではないかという意見が台頭してきました。

② 会報について

会報の発行回数を昨年度の年4回から年6回に増刊いたしました。そのために、印刷業者の変更、編集委員会の精力的な取り組み等を行い、ようやく軌道に乗ることができたと考えております。

③ イベント・サークルについて

社会見学会・日帰りバスツアー・一泊旅行・ハイキング・スタンプラリー等のイベントを通じて会員相互の親睦に一定の成果があったと思いますが、マンネリ化する恐れもあり今後は回数及び内容に工夫を加え、より充実したものが求められていると感じております。サークルは新たに「ファイブアップ体操」と「テニス・サークル」が誕生しました。歩こう会は、サークルからイベントに変更いたしました。従って現在8サークルが頑張っているところであります。

4. 学習交流会

学習交流会は「心理学と手品」と題する講演会（講師・大阪産業大学 瀬島順一郎氏）を実施し、参加者は68名でした。学習交流会は、テーマ選択と講師依頼が困難な課題ではありますが、いずれにしてもこのような単発的な講演会は、後に残るものが少ないとの批判もあり、今後は年間を通しての学習の場を設定する必要があるのではないかと思います。



5. 健康ウォークラリー

今期の参加者は279名で昨年の268名より微増はしましたものの、ほぼ横這いとなっています。しかしながら参加者の意見等から、この催しが健康を守る運動の一助として、意義のあるものと感じています。PRの努力とともにさらに工夫を加えて会員の健康保持に努めたいと思います。

6. 福祉活動

全電通近畿社会福祉事業団への「愛のカンパ」は903名、1,487,000円のご協力をいただきました。会報では1,472,000円と報告しておりますが、その後のカンパを加えました。寄贈金額は振込手数料を差し引き1,425,120円となっております。

なお、使用済みのテレカや切手などの収集による福祉関係カンパを行いました。

また、テルウェルが、従来行ってきたボランティア・サークルへの支援活動から撤退したため、支部協所属のボランティア・サークルに対する支援方法の検討が求められております。

7. 居住者組織への参加について

5月9～10日に開かれた西日本本部主催の「居住者組織」「退職者の会」交流集会に2名が参加し、会の活性化と今後の活動のあり方について意見交換を行いました。

また、豊中・高槻・堺等各居住者会の催しに退職者の会からも参加しました。今後さらに大阪支部の取り組みにあわせ、当該地域における現退一致の活動に積極的に参加していきたいと考えています。

8. 生活改善の取り組みについて

連合大阪高退会が主催する年金・医療・介護など生活を守り、より改善していくための署名活動や、各種シンポジウムへの参加を行ってきました。

9. 政治改革の取り組みについて

NTT労組の要請をふまえ自治体選挙、衆議院選挙に精力的に取り組みました。

介護保健

どうやって払うか？

年金額 15,000 円以上は天引き

老齢・退職年金が月15,000円以上ある人は、年金から天引きになる。

2ヶ月に一度、年金が支払われる時に、介護保険料2ヶ月分がまとめて自動的に差し引かれる。この10月の年金支給日は13日。全国の約8割がこの方法で徴収される。

介護保険は個人単位で加入する仕組みだが、保険料徴収の面では世帯という枠組みから無縁ではない。世帯主と配偶者が連帶給付の義務を負うのもその一例だ。

2000年度の具体的取り組み

1. 組織問題の取り組み

在職時の職域を母体とした組織運営は漸次その意義を失いつつあります。加えて技術革新と産業構造の変化に伴い、従来の職域理念では構築し得ないのが実態であります。

このことから、生活拠点に根ざした居住地域型連帯組織に移行するべきだとする組織確認に基づき、幹事会は2年間にわたる各般の論議をふまえ別紙「退職者の会組織のあり方と今後の展望」を提起し協力を求めるものであります。

2. 会員拡大の取り組み

大阪支部の支援を得ながら通年的取り組みを行うほか、グループ企業退職者を網羅した説明・勧奨活動に積極的に取り組みます。

3. 組織運営の活性化の取り組み

量的なものに加えて質的な充実を意識しながら次の取り組みを行います。

- ① 月1回の幹事会をさらに活性化します。
- ② 週5日の常駐体制は現状どおりとしますが、年2～3回程度「常駐者打合せ」を開き意見交換を行い、会員とのコミュニケーションに役立てます。
- ③ 事務局会議の一層の充実に努めます。
- ④ 「ブロック委員全体会議」を年間2程度実施します。

4. コミュニケーションの充実の取り組み

① ハガキ訪問

従来の電話訪問をハガキに変更します。

② 会報の発行

支部協会報「摂河泉OB」の年6回発行を堅持するとともに、さらに内容の充実に努めます。

③ イベントの強化

会員相互の親睦・交流のため次のようなイベントを計画します。

社会見学会・日帰りバスツアー・一泊旅行
ハイキング・スタンプラリー

さらにサークル活動の助成をはかります。

【現行サークル】

囲碁、詩吟、ゴルフ、カラオケ、和紙人形
書道、ファイブアップ体操、テニス

5. 学習交流会の取り組み

従来の単発的講演会型の学習会を改め、定期的学習講座の開設など、年間を通して継続学習する方向で検討します。

6. 健康ウォークラリーの取り組み

5月の健康ウォークラリー月間の設定は従来どおり継続実施します。

7. 福祉活動の取り組み

- ① 「全電通近畿社会福祉事業団」への通称「愛のキャンパ」は引き続き実施します。
 - ② 介護保険制度実施に伴う諸問題について、情報収集を行うこととし、N T T労組、連合等と連携して制度改善の取り組みを行います。
 - ③ 使用済みテレカや切手などの収集を通じて福祉関係カンパを引き続き行います。
- なお、この運動の先頭に立つボランティア・サークルの活動を支援していきます。

8. 居住者組織への参加の取り組み

N T T労組大阪支部が進める地域居住者の会に積極的に参加し、現退一致の居住者組織を盛り上げ強化して、地域活動の核になるよう努めます。

9. 生活改善の取り組み

年金・医療・介護・雇用など社会保障システムの充実・改善に向けて、N T T労組を始め連合等と連携して取り組みます。

10. 政治改革の取り組み

弱者に視点を置いた政治への改革を目指し、N T T労組と連帯して2001年の参議院選などに積極的に取り組みます。

介護保健

収入違っても同額？

40歳以上の全員が保険料を払い、互いに支え合うのが介護保険の基本的な考え方だ。

少額の年金しか受けていない人でも払わなければならない。しかし所得に応じて基本的に五段階の差がつくようになっている。

- 第一段階 老齢福祉年金が生活保護を受けている人
- 第二段階 世帯全員が住民税非課税
- 第三段階 本人が住民税非課税
- 第四段階 年間所得250万円未満
- 第五段階 年間所得250万円以上

基準額は市町村によって変わり、倍率もそれぞれ異なる。



スカイ島への旅

橋本 靖昭

スコットランドの工業都市グラスゴーから少し離れた所にある歌で名高いロッホ・ローモンドのB & B (日本の民宿)を基点にして私達夫婦はハイランド地方に在るスカイ島への旅を始めました。

どうしてスカイ島への旅を選んだかと云うとその名前の響きと未知の島に魅せられたからです。SKY E 島とは「空の島」かと思っていたのですが語尾にEが付き、古ゲール語で翼を意味するものだとしりました。

グラスゴーを出発した列車はスコットランドの北西を細長い入江のような湖や岩はだをむきだした山峡を縫うようにして北上し四時間かけてフォート・ウィリアムに到着。白いヨットが浮かぶ二湖畔にあるB & Bのマダムは我々を大歓迎し、昨年プレゼントした蛙の折紙をコップでふせて蛙が逃げないようにしているよ！と見せてくれました。部屋は湖の見える素敵なツインルームを当てがってくれ、宿泊費はボリュームたっぷりの朝食付きで一泊五千元余り(二人分)とずいぶん安く済みました。



B & Bの御夫妻に手品を披露する妻

此の町の東にはイギリス最高峰のベン・ネビス(1344米)が残雪を頂いて姿を見せ、南にはグレンコーの悲話(the weeping Glen)を持つ峡谷がありました。

次への旅立ちの朝B & Bのマダムはお別れにと妻に花のブローチをプレゼントしてくれました。その厚意はいつまでも忘れることが出来ません。

フォート・ウィリアムからマレイグへの道中はスコットランドの風景をフルコースで味わっているような素敵な眺めの連続でした。

山峡に掛るグレンフィナン陸橋を渡り始めると停車してジックリと峡谷から遠くの島々を眺めるサービスもしてくれるのです。

スカイ島へは大型のフェリーで30分の船旅です。まるで多島海の中に浮かんだような島は入りくんだ海岸線・険しい山まで変化に富んだ、しかも手付かずの自然が残っている所です。

観光客の訪れも少なく人々は淳朴で親切な気風が残っており大いに旅の助けを受けることが出来ました。

此の島で醸造されるピートの強い香りがするウィスキーはこくがあります。



フォート・ウィリアムのB & B

お馴染みのスコットランド民謡を聞きながら静かにグラスを傾けていると旅の疲れは一度に癒されるのです。

翌日マクドナルド(ドナルドの血を引く子孫にMcCを付ける)の先祖が築き上げたダンヴィーガン城を訪れることにしました。

B & Bのおじさんにスクールバスに便乗させてもらえばいいとアドバイスを受け、学生諸君と同乗して目的地に向いました。ほとんど聞きとれない彼等の会話ですが学生気質は変わらないようです。ピカチュウを折紙で作って渡すと取り合いする程人気があり大うけでした。

日本のキャラクターがこんな所にまで知れ渡っているのには驚きでした。

城は島内の山を越えた北西の入江に建つエレガントなものです。城内に入ると大きなブル(猛牛)の首が迎えてくれます。城の造りは堅牢そのもので、幾度かの戦いに耐えぬいた歴史を物語っているようです。

広大な庭園にはいろんな色の石楠花が咲き、大きな角のハイランド牛がゆったり草を食むと云うのどかな情景にひたりながら持参の昼食を喰べるのも又格別でした。



スカイ島のダンヴィーガン城の佇い

島からの帰りは長距離バスに乗り往時と違った風景を眺めることが出来ました。いろいろな失敗もしましたが美しい景色や現地の人との触れ合いに感動し、楽しい思い出を一杯つめて、大樹の並木や白鳥が翼を休める静かなローモンド湖を後にしました。

この後イングランド各地を巡って、六月中旬無事に帰国の途につきました。

大山・松江と皆生温泉の旅

田宮 美千代

9月6日、定刻8時半に大阪駅を出発した退職者の会一行52名は、一路山陰を目指して走り続けました。幸い車の渋滞もなく、黄金色に実る刈り入れを待つばかりの田をながめながら昼食の蒜山高原に着きました。

この辺りは牛の放牧も見られ牧歌調を思わせるのどかな景色です。

午後は大山を目指します。

東側から見る大山は、山頂が平らで荒々しい岩肌を見せます。さらにバスはぐるりと山裾を廻って西側から大山を眺

めると、さすがに伯耆富士とよばれるように富士にも似た美しい山容を誇っております。

中腹の大山寺へは、だらだら坂を八〇〇米ほど登り更に石段がありますが、皆頑張って本堂へ参詣できたようです。



大山は中国山地のほぼ中央に位置し、大山寺を中心とする一千年以上の長い信仰の歴史を秘めたところです。

一日目の予定を終え一路今宵の宿、皆生温泉「ホテル清風荘」へ、窓の下に美保湾の海岸が広がり、日本

海の波音が聞こえる宿です。夜はお定まりの大宴会、カラオケや踊りに盛り上がりました。

二日目もまた申し分のない晴天、宍道湖と城の町松江市に向かいます。

ここではお城見学と城の濠を屋形船で

巡り城下町を見る「堀川めぐり」の二手にわかれしました。

天守閣の五層の上まで急な階段を昇ると、急に涼しい風が流れ生き返った心地になります。時間がたっぷりあったので塩見縄手の武家屋敷や小泉八雲邸など見て、下の濠を覗くと、屋形船から手を振っている同行の方々とも会いました。

安来清水寺という古寺の門前にある松琴館で精進料理の昼食後、境港の魚市場で買い物をし一路大阪へ戻りました。晴天に恵まれた岡山、鳥取、島根三県に亘る楽しい旅でした。



ハイキング (歩こう会)

と き 10月8日(日) ※雨天中止
 集合時間 10時出発
 雨天時の問合せ 090-3056-3162 (今井)
 090-8888-2210 (玉谷)
 集合場所 近鉄・吉野線飛鳥駅
 行 先 飛鳥野の面影コース
 参加費 無料 交通費・弁当・飲み物は各自負担
 申込み 10月4日(水)までに支部協
 ☎06-6451-8100

秘境を訪ねてバスレク

と き 11月9日(木)~10日(金)
 行 先 白骨温泉と上高地
 定 員 40名(定員になりしだい締切ります)
 会 費 30,000円
 会員外は33,000円
 申込み 10月20日(金)までに支部協へ
 ☎06-6451-8100
 ※ ご案内と振込用紙を締切り後、参加者に発送します。

ゴルフコンペ

= 次回は忘年コンペ兼総会 =

と き 12月13日(水)~14日(木)
 スタート9時頃
 と ころ 加茂カントリー
 宿泊場所 奈良春日野荘
 人 員 10組先着40名様で打切ります。
 申込み 12月1日(金)迄に支部協へ
 登録会員は参加・不参加にかかわらず、必ず電話して下さい。
 ☎06-6451-8100

旅路の想い出に

見知らぬも 知友も共に 同乗し 好天の旅 心が和む
 夫々に 歩み異なる 人生ぞ 友の消息 積もるを語る
 縁なきも 去りし職場は 同じ釜 話を聞きて 和して宿する
 陽を浴びる 裏と表の 大山を 眺望絶佳 旅行を楽しむ
 峨峨とした また優雅なる 大山ぞ 満喫したり バスの運びで
 全貌を 見せる大山 一行を 歓迎するかに 雲も離散し
 暑熱から 伯耆の旅路 皆生の湯 夏の疲れを 癒し賑わし
 我が前に 隔絶したる ありし日を 座りて話す 古き先輩
 熱き湯が 人の心と 親交を 取り持つ旅に なりたる如し
 打ち寄する 潮返す波 日本海 美保湾の浜 朝光眩し
 交々に 過ぎにし職場の 思い出を 語りてバスは 友交深かめ
 松江城 水景めぐり 楽しんだ 心と体 無事に帰阪す

二〇〇〇年九月八日

岡野 弘

NTT退職者の会 第2回全国総会報告

機関紙コンクールで『撰河泉OB』優秀賞受賞

退職者の会第2回総会が、9月14日東京・全電通会館で開かれ、21世紀の新しい年度に向けて具体的取り組み等について決定しました。前々日までの集中豪雨による影響が心配されるような天候の不安もありましたが、代議員4名、傍聴者6名が参加しました。

総会は中央協・加藤副会長の辛口時評のコメントをそえた開会あいさつに続いて我が大阪支部協大庵会長を議長に選出し議事が進められました。中央協を代表して坂田会長があいさつ、99年度の活動を振り返るとともに、今年度の活動について、年金・医療等高齢者福祉政策に強い意識を持ち、シンボルフレーズにある「安心・信頼、生きがいあふれる21世紀、皆と一緒に」に集約される運動をと決意を表明された。続いてNTT労組本部を代表して白石事務局長があいさつ、新しい人事制度、組織の構造改革等今後の取り組みの重要性を訴えられた。引き続いて、前回の選挙で当選の山井議員、電通生協早川理事長、私たちも親しい互恵サービスの柴田さんなど来ひんのあいさつ、メッセージ、祝電の披露の後議事に入り、石野事務局長が2000年度活動方針等について、さらに決算報告、予算案の提案を行ない、満場一致で承認、決定しました。

恒例の永年役員表彰では、氏名の発表披露があり、会場全員の拍手でその永年の労をねぎらいました。大阪支部協では田宮事務局長が15年の被表彰者です。さらに今年のもう一つ嬉しいニュースは、機関紙活動コンクールで我が支部協の会報「撰河泉OB」が優秀賞を受賞しました。また大きな励みになります。それぞれの顕彰は支部協総会で発表されることになっています。

翌15日は例年通り「全国高齢者集会」に参加。今年は支部協参加者全員が前段に行われた個別テーマ討論集会「介護保険充実のために」に出席しました。介護認定、ケアプラン、受け入れ態勢の不安、保険料やサービスの格差、などなど介護保険制度が直面しているさまざまな問題に、厚生省、自治体、ホームヘルパーの代表、と3人の各部門のパネラーが説明し、活発な質疑応答が行われました。短時間に集約された内容の濃い集会を経験しました。



N T T 労組 大阪支部だより

N T T大阪支部第3回定期大会が9月8日、千里ライフサイエンスセンターにおいて大会構成員・代議員・傍聴者の約200名の参加により開催した。本定期大会のスローガンは、「次代は今！新たな時代にふさわしい、魅力ある組織の確立へ、挑戦、そして前進」である。21世紀の新しい未来に向け、大阪支部初の基軸大会として、多くの議論のもと、向こう2年間の活動方針を決定した。

大会の冒頭、大阪支部岩橋委員長より「組合員に信頼される労働組合でなければならない。職場に最も近い支部、分会、部会が組合員に信頼される組織となる必要がある。相互討論、相互批判は組織強化に必要である」また、中高年対策について触れ「私くしを含む団塊の世代の人達は電電公社に採用され、当時の2大目標の実現に向け数次にわたる5ヶ年計画の先頭に立って働いてきた世代である。私くしはこの中・高年の社員が頑張れる、チャレンジ出来る施策をお願いしたい」と、大阪支店にあいさつの中で要望をおこなった。

続いて、西本部を代表して財田副委員長、情報労連大阪地区協議会から垣下事務局長のあいさつの後、第3回定期大会のために駆けつけていただいた多くの来

賓の皆様の中から、連合大阪を代表して前田会長、民主党大阪府連を代表して中野寛成衆議院議員、近畿労働金庫大阪府本部長薮内様よりそれぞれあいさつをいただいた。また、これまで上部派遣役員としてがんばってこられた、前電通共済生協理事長・梶本幸治さん、前中央本部副委員長・河村行則さんより、それぞれあいさつをいただいた。梶本さんは、すでに退職者の会に加盟し、「これからは、少し離れたところから、N T T労組の運動を眺めていきたい」とのあいさつ、また「何のために役員をやっているのか、何のために大会に出席しているのか、自分で考えないといけない」との叱咤激励もあった。

午後、山田事務局長から、一般経過報告・2000年度～2001年度活動方針の提案、案副委員長より会計報告・予算案の提案、をはじめとした各種報告提案の後、各種質疑討論をおこない、次年度に向けた大阪支部の活動方針を決定した。

最後に新旧役員あいさつにより全ての日程を終了した。今後は、新たなメンバーで2年間の活動を行なう、退職者の会の皆さんとも方針決定したとおり、一層の連携を図り、現退一致で各種行事を取り組んでいくこととする。

支部協の動き (抜粋)

・第10回幹事会(8月23日)

- ①一泊旅行について
- ②全国総会出席者の確認について
- ③ブロック関係報告について
- ④ブロック委員全体会議について
- ⑤永年表彰について
- ⑥組織検討委員会について
- ⑦総会議案審議について
- ⑧その他



「仲間入りしました」

新入会員ご紹介

青山 陽典 片本真智子 梶本 幸治
明蓮 幸子 卜部巳智枝

お悔やみ申し上げます

大野 晴枝 西尾 健 和田 清
(合 掌)

【編集後記】

十月は総会です。告示とともに総会議案を掲載してごいます。再編後の二年様々の課題をクリアしてきました。一年間の活動を振り返り、新しい年度の取り組みを提起しています。ブロックの再編がこれからの大きな課題になっています。

先日の中協第二回全国総会の機関紙活動コンクールにおいて私たちの会報『棋河泉OB』が優秀賞に選ばれました。編集委員の努力とともに会員皆様のお力添えに感謝をいたします。内容もそうですが、定期刊行も評価の一つになっています。これからもこの努力は続けます。これを機会に一層の充実を目指します。ご意見も精一杯伺いながら親しめる会報づくりにご協力をお願いします。

田宮さん十五年永年表彰です。ご苦勞様でした、そして心よりお祝いを申し上げます。締め切りが迫る頃にオリンピックが始まりました。一日目の女子競泳の銀メダルにまず感激、そして柔道とそれぞれがさわやかな笑顔で喜びを伝えてくれています。楽しみです。しばらくは日常のいやなニュースを忘れさせてくれるでしょう。

長い猛暑の後今年も記録的な集中豪雨に見まわりました。どうも自然は不機嫌のようです。だんだん深まりゆく秋、どこまでも高い十月の空、そして紅葉に映える日差しそんな穏やかな日々を期待しています。